

『自分らしく生きて、望む場所で最期を迎えたい』

～そのためにあなたは何を選択しますか？～

特別講演 (オンラインでのご登壇)

死ぬことと、 生きることは同じ

～夫・金子哲雄の闘病と死に伴走して～

講師 金子 稚子 (かねこ わかこ) 氏

終活ジャーナリスト

ライフ・ターミナル・ネットワーク代表

テレビやラジオなどで多くの人に愛された流通ジャーナリストの故・金子哲雄氏。

彼が遺した完璧なまでの「終活」と、最期の500日を一番近くで見つめ、支え続けた妻の金子稚子氏をオンラインでお招きいたします。「死」をタブー視するのではなく、真正面から見つめること。それは、残された時間を「どう自分らしく生きるか」を考えることそのものです。最愛の夫との闘病生活、そして看取りの経験から語られる言葉は、私たちに「今を生きる大切さ」を教えてください。

講演後には、ゲーム形式で過去を振り返り・今を見つめ・将来について考える『SUGOROKU de 人生会議』や余命半年と宣告されたら残された時間を何を大切に過ごしたいかを考える『もしバナゲーム』、ある日突然「余命」が決まったら大切にしたい3つの事を選択する『天国から招待状が届いたら展』など、どなたでも気軽に参加できる体験型ワークショップを開催します。また、在宅療養の「困った」に役立つ介護保険制度等のパネル展示など、プログラムが満載です。ぜひご参加ください。



Wakako Kaneko

profile

夫は、2012年10月に他界した流通ジャーナリストの金子哲雄氏。夫の闘病生活や死に寄り添う中で、死がタブー視されるがために起こっているさまざまな問題に気づく。夫と死別後は、編集者だった経験を生かして、死の前後に関わるさまざまな事象や取り組みを取材。各学会や研修会にも講師として登壇している。

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの普及・啓発の在り方に関する検討会」構成員
- ・一般社団法人日本医療コーディネーター協会共同代表理事

日時

令和8年

11月14日(土)

13時00分～

15時30分

(開場12時00分)

場所

北九州国際会議場 メインホール・
イベントホール

北九州市小倉北区浅野3丁目9番30号
(小倉駅新幹線口から徒歩5分)

入場
無料

裏面のはがき
またはQRコードで
お申し込みください

『自分らしく生きて、望む場所で最期を迎えたい』

～そのためにあなたは何を選択しますか？～

司会：北九州市医師会 理事 川本 京子

第一部

メインホール

【イントロダクション】(5分)

北九州市の現状と取組

ー「最期まで住み慣れたまちで」を目指してー

北九州市保健福祉局 健康医療部 地域医療課

【特別講演 (オンラインでのご登壇)】(50分)

「死ぬことと、生きることは同じ

～夫・金子哲雄の闘病と死に伴走して～」

終活ジャーナリスト

ライフ・ターミナル・ネットワーク 代表

金子 稚子 氏

第二部

イベントホール

【体験型ワークショップ・パネル展示】

体験型ワークショップ

- ・天国から招待状が届いたら展
- ・SUGOROKU de 人生会議
- ・もしバナゲーム

パネル展示

- ※在宅療養に関する情報
- ・介護保険制度
- ・成年後見制度
- ・認知症

など



日 時

令和8年11月14日(土) 13:00～15:30
(開場：12:00)

場 所

北九州国際会議場

北九州市小倉北区浅野3丁目9番30号
(小倉駅新幹線口から徒歩5分)

メインホール・
イベントホール

入場
無料

申し込み方法

QRコードにてお申し込みください。
※お申し込みいただいた時点で参加可能です



申し込み締切日

令和8年11月13日(金)まで

主 催

公益社団法人北九州市医師会、北九州市、在宅医療・介護連携支援センター

問い合わせ先

公益社団法人 北九州市医師会

電話 093-513-3811 (平日9時～17時)
土日祝除く